

授業改善推進プラン(指導方法の課題分析と具体的な改善計画)

理科	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展的指導計画
1年			
2年			
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持って観察に取り組んでいたが、観察したことから、気づいたことや考えたことを表現する力が弱い。 ・植物や昆虫を細部まで、よく見て観察しようとする子が多く見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手で触ったりじっくり見たりする観察の時間をたっぷりとる。 ・観察後、気づいたことや考えたことを班で話し合い、個々の気づきを全体に広めるようにする。 ・形、色、大きさ、前との比較、などと観察の観点を明確に提示してから取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に見ることのできないもののテレビやビデオ等、視聴覚教材の活用を図る。 ・観察の継続や発展的な実験を行う。 ・科学的な読み物の活用や紹介を行う。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・観察の中で、新しいことや変化を発見することは好むが、それを的確に表現したり理解することが難しい。 ・実験には興味を持って取り組むが、結果を正しく理解したり、分析したりする力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験共に、予想→観察・実験→結果→考察・分析までを分かりやすくノートにまとめさせる。また、互いの意見を聞き合い、理解を確かなものにしていく。 ・予想の正誤ではなく、自分の生活や体験に基づいた考え方を高く評価し、次時の意欲へと繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より理解を深めるために、ワークシートや補助ビデオ等視聴覚教材の活用を図る。 ・学習したことを生かして、理科工作を作ったり、継続して栽培したりする。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使った実験や映像資料などを使った調べ学習には、興味関心をもって取り組む児童が多い。 ・課題を解決するための実験を組み立てたり、結果から分かったことを分析・考察する力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物や資料を可能な限り用意し、興味関心を持たせ、実感の伴った理解ができるようにする。 ・ノート指導を徹底し、実験の結果、考察、分析などを的確にまとめさせることで、科学的な見方や考え方ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験結果と理解が結びつく(納得できる)ようにワークシートを工夫する。 ・学習を通してさらに疑問に思ったことを追究する場面を設定する。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活体験の中から、予想を立てたり、考えたりすることができる子が増えてきた。 ・実験には興味関心が高いが、結果を分析したり、まとめたりする力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間何らかの体験的な活動を取り入れた学習を構成する。 ・ノート指導を徹底し、実験の結果、考察、分析などを的確にまとめさせることで、科学的な見方や考え方ができるようにする。 ・できるだけ結果を予想する学習活動を行い、身につけさせていく。また、結果の予想についての情報交換を行う場を設け、自分の予想の立て方や妥当性について振り替えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの方法だけで結論を導き出すのではなく、他の方法での検証を探っていく。 ・実験や観察において試行錯誤をする時間を作る。 ・学習を通してさらに疑問に思ったことを追究する場面を設定する。

・実験や観察に興味をもって取り組めるよう学習を進めてきたが、科学的な見方や考え方が不十分である。